

表4 No.5 サプリメント管理士マスター—新生活普及協会/SSFK研修センター

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者
関テキ 連法規 6	食品と医薬品	レシチン	3	その他の健康食品	分類 存在 生理作用 安全性 摂取目安量	末木一夫 監修
		ローヤルゼリー	1	その他の健康食品	生理作用 安全性	
		医薬品とは	2	概要	薬事法 医薬品の定義	
		医薬部外品とは	4	概要	薬事法 医薬部外品の定義 新医薬部外品	
		無承認許可医薬品と『46通知』	3	薬事法	通知の背景 無承認許可医薬品被害	
		食薬区分① 成分本質(原材料)	6	薬事法	医薬区分 原材料の判断基準 原材料における違い 栄養成分表示の違い(ビタミン・生薬・抽出成分)	
		食薬区分② 効能効果の標ぼう	4	薬事法	医薬区分 規制対象表示・広告方法	
		食薬区分③ 形状	1	薬事法	医薬区分 形状による違い	
		食薬区分④ 用法・用量	6	薬事法 食品安全基本法	医薬区分 用法・用量表示の違い 食品安全基本法	
		食品と表示	1	定義・分類	医薬品・食品の分類図	
		食品の製造・販売と法律	食品と表示	一般食品の表示と法律	11	
食品添加物の表示	5			食品添加物	食品添加物の分類 指定添加物と既存添加物の規格・基準 表示	
機能表示ができる食品	14			健康・栄養に関わる表示	特別用途食品と表示例 保健機能食品 特定保健用食品 栄養機能食品	
製造に関する法律	5			PL法 HACCP 法令・法規その他	PL法 食品衛生法とHACCP	
販売に関する法律	11			消費者基本法 法令・法規その他	消費者基本法 消費者契約法 特定商品取引法	
巻末資料	巻末資料	新範囲医薬部外品に移行された15区分とその範囲	1	薬事法		
		栄養機能食品、新医薬部外品、一般用医薬品の配合比較	1	薬事法		
		違反広告事例集	6	法令・法規その他		
		特定商取引法の適用対象	3	法令・法規その他		

表4 No.7 サプリメントアドバイザー 日本ニュートリション協会

テキスト2冊 企業向け(企業の人事窓口を通して申し込むタイプ) 料金等は不明
 HPで申し込むタイプはテキスト 基礎編:3冊+添削問題集3冊 ビジネス編:2冊 添削問題集1冊 通信のみ89,000円 期間1年
 「サプリメントアドバイザー」コースあり テキスト3冊 通信+小論文テスト 期間6カ月40,000円

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者	
サプリメント編	栄養素とは何か	食べ物が生命を維持する	0.6	栄養学その他	栄養と食べ物と生命維持	一栗智也 外部英寿 監修	
		エネルギー源になる三大栄養素	2.7	3大栄養素	糖質・脂質・タンパク質 構造 種類 代謝 アミノ酸の種類		
		日本の食事摂取基準	1.3	食事摂取基準	概要 必要量 推奨量 目安量 目標量 上限量		
		サプリメントとは何か		1	定義・分類		定義 アメリカと日本の違い
				1	海外事情		アメリカの歴史・背景
				1.5	海外事情		マグガハンレポートの食事改善目標
				1	保健機能食品		保健機能食品と一般食品
				2	定義・分類		医薬品・保健機能食品・一般健康食品の図
				1	海外事情		アメリカの肥満・血圧の現状
		サプリメントを活用するための基礎知識		0.7	健康食品その他		食事の補足であることが大原則
				0.7	健康食品その他		利用する目的に沿っているかが判断基準 個人輸入の注意
				2	健康食品その他		チェックポイント 成分の表示・原材料 添加物・加工方法・体内で有効に働く工夫の有無・品質管理 ラベルの見方
				1.5	摂取について		目的や健康状態と異なる 幼児や高齢者は回数に分ける
				0.7	健康食品その他		形状の特徴と注意
		サプリメント摂取のTPO	スポーツ栄養学の重要性	1	ライフステージ別		貧血 BCAA
		スポーツとアミノ酸	1.5	ビタミン・ミネラル	アミノ酸スコア アミノ酸の働き		
		脂肪を燃焼させるサプリメント	1	ビタミン・ミネラル	ビタミンB群 共役リノール酸 大豆ペプチド		
		妊娠・授乳中の人のサプリメント	1	ライフステージ別	ビタミンK 葉酸		
		子供、老人、病人のサプリメント摂取	1	ライフステージ別	子供、老人、病人の場合の摂取の注意点		
	ビタミンとは何か	ビタミンがないと人は生きていけない	1	ビタミン・ミネラル	定義		
		ビタミンの役割と種類	2	ビタミン・ミネラル	水溶性ビタミン 脂溶性ビタミン 単位		
	水溶性ビタミン	ビタミンB1(thiamin)	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		ビタミンB2(riboflavin)	0.8	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		ナイアシン(niacin)	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		ビタミンB6(pyridoxine)	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		葉酸(folic acid)	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		ビタミンB12(cyanocobalamin)	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		ビオチン(biotin)	0.8	ビタミン・ミネラル 栄養素 相互作用	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		パントテン酸(pantothenic acid)	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
		ビタミンC(ascorbic acid)	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		
	脂溶性ビタミン	ビタミンA	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準		

表4 No.7 サプリメントアドバイザー 日本ニュートリション協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者
		ビタミンE	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準	
		ビタミンD	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準	
		ビタミンK	1	ビタミン・ミネラル 栄養素 相互作用0.2	含有食品 生理作用 対象者 補給法 食事摂取基準	
	ビタミン様物質	イノシトール	1	栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法	
		コリン	1	栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法	
		コエンザイムQ10	1	栄養素 相互作用	含有食品 生理作用 対象者 補給法	
		PABA	0.7	栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法	
		α-リポ酸	1	栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法	
		ビタミンP	0.5	栄養素	含有食品 生理作用 対象者 補給法	
	ミネラルとは何か	ミネラルは生命活動に必要な微量栄養素	1	栄養素その他	現代人のミネラル不足	
		ミネラルの種類と働き	1	ビタミン・ミネラル	必須ミネラルと働き	
		ミネラルの摂取量	0.5	ビタミン・ミネラル	食事摂取基準	
	主要ミネラル	カルシウム	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		リン	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		カリウム	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		イオウ	0.5	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者	
		塩素	0.5	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者	
		ナトリウム	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者	
		マグネシウム	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
	微量元素	鉄	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		亜鉛	1	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		銅	0.7	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		ヨウ素	0.7	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		セレン	0.8	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		マンガン	0.8	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		モリブデン	0.5	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		クロム	0.8	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者 食事摂取基準	
		コバルト	0.5	ビタミン・ミネラル 栄養素	生理作用 含有成分 補給方法 対象者	
	ビタミン・ミネラルと疾病	健康とビタミン・ミネラル	0.7	健康商品の現状と将来	サプリメントの必要性	
		現代人とビタミン・ミネラル	0.6	健康商品の現状と将来	栄養価の減少 健康とサプリメント	
	サプリメントと法律	サプリメントとは	2	定義・分類 医薬品その他	サプリメントの定義 サプリメントと医薬品の違い	

表4 No.7 サプリメントアドバイザー 日本ニュートリション協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者
サプリメントと法律編	サプリメントに関する国内の制度	サプリメントに関する海外の制度	2.5	コーデックス 海外事情	保健機能食品 サプリメントの摂取量と摂取方法の表示 サプリメントアドバイザーの必要性	コーデックス アメリカ・欧州連合・イギリス・スウェーデン・中国の健康機能表示 健康食品の関係法令 目的 基本理念と主な規定 目的 主な規定 目的と基本方針 食品に係る主な規定 目的と医薬品の定義 食品と関わりのある主な規定 目的 健康食品に関する品質表示 目的と食品の表示 不当表示の分類 目的 主な規定と対象となる販売方法 目的 主な規定 目的 主な規定 目的 主な規定 目的 主な国際単位 サプリメント、医薬品との違い、子供、妊娠中等のQA6つ 食事の代用になるか等のQA4つ アレルギー、治療中、副作用、過剰症等のQA7つ 形体、選び方、摂取の注意点、保管方法、摂取時間等のQA17つ 薬との併用、手術前の摂取等のQA4つ 原材料、医療費控除、個人輸入、訪問販売等のQA7つ 適正度チェック 専門知識の習得 実務経験 身だしなみチェック 人間関係の重要性 アドバイザー能力を磨いて自身をつける 人の心を動かすためのチェックポイント アドバイザーは聞き上手になる 口調、声のトーン 伝え上手になる 相手の話を聞くこと 上手なアドバイザーをするためのチェックポイント 話す順序 相手の意見を聞く 生き方を磨く
		サプリメントと関係法令	1.5	法令・法規その他		
	食品安全基本法	0.7	食品安全基本法			
	食品衛生法	0.6	食品衛生法			
	健康増進法	0.5	健康増進法			
	薬事法	0.8	薬事法			
	JAS法	0.5	JAS法			
	景品表示法	0.5	法令・法規その他			
	特定商取引法	0.7	法令・法規その他			
	消費者契約法	0.3	法令・法規その他			
	製造物責任法	0.3	PL法			
	計量法	0.3	法令・法規その他			
	サプリメントアドバイザー実践Q&A	サプリメントの必要性	1.5	消費者対応その他		
		サプリメントと食事	1	消費者対応その他		
	サプリメントの作用と病気	2	消費者対応その他			
	サプリメントの摂取方法	4.5	消費者対応その他 摂取方法			
	サプリメントと薬	1	消費者対応その他			
	その他	2.5	消費者対応その他			
	サプリメントアドバイザーの役割	2.5	消費者対応その他			
	サプリメントアドバイザーを目安には	0.6	消費者対応その他			
身だしなみと笑顔が基本中の基本	0.8	消費者対応その他				
アドバイザーをは人を相手にする仕事	1	消費者対応その他				
自身をもつことが名アドバイザーをへの近道	0.5	消費者対応その他				
サプリメントアドバイザーをは人々の健康を守る	0.5	消費者対応その他				
アドバイザーの方法	「聞き上手」になる	0.3	カウンセリング			
	「伝え上手」になる	0.3	カウンセリング			
	相手を理解することから始める	0.5	カウンセリング			
	相手の耳を自分に向けさせる	1.2	カウンセリング			
	順序よく話を進める	0.3	カウンセリング			
言葉のキャッチボールがアドバイザーの基本	0.7	カウンセリング				
豊かな人間性を身につけるために日頃の自分を磨く	0.4	カウンセリング				

表4 No.7 サプリメントアドバイザー 日本ニュートリション協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者
	資料編	「健康食品」に係る制度の見直し 「健康食品」に係る制度に関する質疑応答集 「いわゆる健康食品」の摂取量および摂取方法等の表示に関する指針	5 15 1.5	健康食品の現状と将来 消費者対応その他 表示その他	厚生労働省医薬品食品局食品安全部長通知 平成17年2月1日 厚生労働省医薬品食品局食品安全部基準審査課新開発食品保健対策室長通知 平成17年2月28日 厚生労働省医薬品食品局食品安全部長通知 平成17年2月28日	

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チエーンドラッグストア協会

養成方法 通信教育(12ヶ月)
ヘルス&ビューティー人材育成センター
認定 通信教育修了者に限定して認定試験を行う。合格基準を満たした人には認定証を交付。
受講料 ¥66,150

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者
I 第1巻 体の構造と働き	体の構造と働き	人体総論	8.5	体のしくみ	人体の区分に関する名称 特定部位の名称 人体の位置を示す面と方向(①人体の断面 ②身体の位置に関する用語) 体位に関する用語 系統(器官系)に関する用語(①細胞②組織③器官)	和田高士 田辺晴康 福田千晶 川島光太郎 堀美智子 北村正樹 恩田威一 大橋十也
		人体の構造と働き	48	体のしくみ	骨格系 皮膚・感覚器系 筋系 呼吸器系 循環器系 消化器系 神経系 生殖器系 泌尿器系 内分泌系	
		巻末資料	13		日本人のデータ 新体カテスタの状況 身体の平均値 血液型 汗の成分 年代別の体年齢 人口動態	
		医薬品の定義	5	概要	医薬品の名称 医薬品の販売規制 一般用医薬品の基本的な考え方 毒薬、劇薬、普通薬 麻薬・覚せい剤など 医薬品以外の薬事法規制対象	
II 第2巻 医薬品	医薬品の定義	医薬品の概要	5.5	概要	医薬品の分類(内容薬、外用薬、注射薬)	
		医薬品の管理	4.5	概要	保管 添付文書	
		添付文書の用語解説	12	概要	添付文書の読み方(改定年月、添付文書の必読および保管に関する事項、販売名および薬効名、製品の特徴、使用上の注意、効能または効果、用法および用量、成分および分量、病気の予防・症状の改善につながる事項、保管および取り扱い上の注意、消費者相談窓口、製造販売業者の名称および所在地)	
		薬の作用	8	薬理学	薬理(薬理作用、薬の作用メカニズム、主な治療薬とその作用) 薬物動態(薬物の体内動態、たんぱく結合)	
III 第3巻 栄養・食生活・運動	栄養	副作用(有害事象)	8	医薬品その他	有害事象と副作用 投与量、服用量 胎児への影響 乳汁移行 アレルギー 臓器障害 薬物依存 ショック[アナフィラキシーショック]、ステイアブンス・ジョンソン症候群、アスピリンぜん息、過敏症 血小板減少症、血栓症、高カリウム血症、高カルシウム血症、抗コリン作用による副作用	
		薬効・毒性に影響する因子	11	薬理学	種差・人種差 生理機能と薬効(高齢者 小児 妊娠時の変化)	
		医薬品の成分解説と情報提供	114	医薬品その他	64種類 解熱鎮痛成分、催眠鎮静成分、抗ヒスタミン成分・抗めまい成分、抗ヒスタミン成分、抗アレルギー成分、鎮痛成分、交感神経刺激成分等	
		巻末資料	23			
III 第3巻 栄養・食生活・運動	栄養	栄養の種類	79	3大栄養素 ビタミン・ミネラル 食物繊維 栄養学その他	糖質 たんぱく質 脂質 ミネラル・微量元素・電解質 ビタミン 食物繊維 その他 水分	
		エネルギー代謝	1	エネルギー	人体が消費するエネルギー エネルギー換算係数	
		食事摂取基準	1.5	食事摂取基準	推定平均必要量 推奨量 目安量 目標量 上限量	
		成長期	2	ライフステージ別栄養学	乳児期 離乳期 幼児期以降	
		成人	1	ライフステージ別栄養学	ストレスと栄養 スポーツと栄養 生活習慣病と栄養	
		妊婦・授乳婦	1	ライフステージ別栄養学	妊娠前期 妊娠後期 授乳期	
老年期	2	ライフステージ別栄養学	摂取エネルギー 栄養素のバランス			

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チエーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者
IV 第4巻 病態生理	生活	食品群の種類	5	食育	3群食品分類法 4群食品分類法 6つの基礎食品 食事バランスガイド	執筆・監修者
		食品の表示	2	栄養・健康に関わる表示	アレルギー物質を含む食品 有機食品 遺伝子組み換え食品	
		食品の組み合わせ	1	食育	主食 副食	
		各食品の特徴	2	食育	主食食品 主采食品 副菜食品	
		主な食品の栄養素と期待される働き	11	食育	穀類 いも及びでんぷん類 砂糖及び甘味類 豆類 種実類 野菜類 果実類 きのこ類 藻類 魚介類 肉類 卵類 油脂類 乳類 油脂類 し好飲料類 調味料	
		健康食品	0.2	保健機能食品		
			0.3	保健機能食品		
			4	保健機能食品	特定保健用食品制度 栄養機能食品制度 製品としての栄養成分	
			5	保健機能食品		
			14	その他	身体活動の強さと量 身体活動量の目標、週23エクササイズ 生活の中で運動継続 内臓脂肪減少のための運動 筋力 平衡性、敏捷性 効果的な運動の種類 運動の効用 生活習慣病に効果的な運動の実際	
V 第4巻 関係法規・制度	運動	筋肉強化運動	13	その他	効果的な運動の種類 効果的な運動の進め方	執筆・監修者
		からだごと心臓をリフレッシュさせる運動	5	その他	心身をリラックスさせる運動・レクリエーションスポーツ 高齢者向きの運動	
		マッサージの基本ルール	10	その他	頭部 首 肩 胸部 腹部 腰背部 上腕部 前腕部 手 太 膝 ふくらはぎ すね アキレス腱・足首・足	
		巻末資料	13			
		病態生理	7	疾病その他	年齢 性別 遺伝 先天異常 体質 免疫 身体の抵抗 アレルギー 心因(ストレス)	
			9	疾病その他	栄養素の不足 栄養素の過剰 物理的要因 化学的要因 喫煙 飲酒 寄生虫	
			0.5	疾病その他	腫瘍 膠原病	
			1.3	疾病その他	炎症の原因 生体防御反応 炎症の兆候と病変 治療	
			2.5	生活習慣病	虚血 充血 うっ血 出血 血栓塞栓	
			0.5	生活習慣病	代謝	
臨床検査	主な疾病の特徴	腫瘍	1.5	生活習慣病	腫瘍の種類 悪性腫瘍の発育 悪性腫瘍の発育抑制	執筆・監修者
		進行性病変と退行性病変	1	生活習慣病	進行性病変 退行性病変	
		奇形	0.3	疾病その他		
		老化とは	7	疾病その他	生理的老化 病的老化 老化に伴う形態変化 老化に伴う身体諸機能の変化 老化に伴う生体化学変化	
		検査	5	栄養管理・栄養アセスメント	基準範囲 検査値の変動 体の基本的計測	
		衛生法規	6	薬事法 法令・法規その他	衛生法規 薬事法規 保健衛生法規 予防衛生法規 環境衛生法規	
			7	薬事法 法令・法規その他	薬局 医薬品等の販売 許可の基準 医薬品の取扱い 医薬品等の広告 監督等	
			4.5	薬事法	リスクに応じた情報提供と相談体制の整備 登録販売者制度 適切な情報提供および相談対応のための環境整備 医薬品の陳列 登録販売者への移行期間 店舗販売業と配置販売業の法的要件	
			2.5	法令・法規その他	任務 免許 独占業務と例外 名称独占 調剤の求めにお応じる義務 調剤の場所 処方せんによる調剤 薬剤の用法などの表示 情報の提供 処方せんに関する業務 業務上の秘密を守る義務	

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チエーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者
VI 第4巻 自己責任とセルフメディケーション	ヘルスケアアドバイザーの役割 自己責任とセルフメディケーションが求められる背景 セルフメディケーションにおける自己責任 セルフメディケーションの推進	医薬分業法	2.5	法令・法規その他	医薬分業	キーワード 医師 歯科医師 薬剤師 美容師 理容師 保健師 看護師 助産師 歯科衛生士 歯科技工士 介護支援専門員(ケアマネジャー) 特定機能病院 その他の医療機関 医療保険制度 医療保険制度の種類 各医療保険制度の概要 保険給付制度 マネジメントケア 国民医療費の動向 平成17年度国民医療費 健康保険 国民健康保険 政府管掌医療保険 組合管掌医療保険 国民健康保険 前期高齢者医療制度 後期高齢者医療制度 高齢者医療費の負担 保険者 被保険者 被保険者の費用負担 保険給付 サービスの認定 訪問介護サービス 医療費の自己負担 老人医療費拠出金 医療等以外の保健事業 診療報酬の支払い方式 公的年金の特徴 公的年金制度の体系 年金給付 平成12年度年金制度改革の概要 平成16年度年金制度改革の概要 その他の年金(日本版401K) ヘルスケアアドバイザーの仕事 身分 セルフメディケーション 心構え 認定制度 地域医療・保健サービスとの連携 急速に進展する少子高齢化 日本の高齢化率は世界最高水準 深刻な証しか現象 人口の減少 生産年齢(15~64歳)人口の減少 求められる新社会保険制度 急増するわが国の社会保険費 これまでの医療制度の限界 新しい21世紀型医療 システムの必要性 自己責任を巡る状況 ヘルスケアにおける自己責任 情報公開 医療の主役は患者・生活者 狭義のセルフメディケーション 広義のセルフメディケーション セルフメディケーションと一般用医薬品 セルフメディケーションとセルフチエック 生活者への情報開示 セルフメディケーションチームづくりの必要性 セルフメディケーションチームの主役は国民である セルフメディケーションを支えるチームづくり セルフメディケーションにおけるドラッグストアの役割 セルフメディケーションの受け皿となるための条件 セルフメディケーションの受け皿となるための課題 ヘルスケアアドバイザーの育成 セルフメディケーションとヘルスケアアドバイザーとめられる幅広い知識
		医療・衛生関係者の養成と義務	3	その他		
		医療機関の種類	3	その他		
		診療科の特徴	1	その他		
		健康関連制度	4	その他		
		国民医療費の動向	3	その他		
		公的医療保険制度の種類	2	その他		
		各医療保険制度の財政	2.3	その他		
		新しい高齢者医療保険制度	1.5	その他		
		介護保険制度	2.5	その他		
		老人保険制度	1	その他		
		診療報酬制度	1.5	その他		
		公的年金制度	6	その他		
		人口問題	4	消費者対応その他		
		財政問題	0.5	健康食品の現状と将来		
自己責任の現状	2	ヘルスマディケーション				
ヘルスケアにおける自己責任を推進するために	1.5	セルフメディケーション				
セルフメディケーションの定義	2	セルフメディケーション				
セルフメディケーションと一般用医薬品の役割	0.5	セルフメディケーション				
セルフメディケーションと国の対応	0.8	セルフメディケーション				
セルフメディケーション実現のための課題	1.5	セルフメディケーション				
セルフメディケーションとドラッグストア	1	セルフメディケーション				
ドラッグストアの人材育成	1	セルフメディケーション				
セルフメディケーションとJACDS	0.5	セルフメディケーション				
巻末資料	15					

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チエーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執事・監修者
I 第5巻 病気とヘルスケア (上)	病気とヘルスケア	循環器系の病気	13	生活習慣病	不整脈 狭心症 心筋梗塞 動脈硬化症 下肢静脈瘤 高血圧症 低血圧症	
		呼吸器系の病気	10	生活習慣病	風邪症候群(=上気道炎・感冒) インフルエンザ 気管支炎 気管支肺炎 肺炎 過敏性肺炎 肺結核 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 肺がん	
		消化器系の病気	23	生活習慣病	食道炎 逆流性食道炎 胃炎(急性胃炎、慢性胃炎) 胃潰瘍 胃酸過多症 胃下垂症・イアトリー 胃がん 胃ポリープ 十二指腸潰瘍 腸閉塞(=イレウス) 大腸がん 便秘症 過敏性胃腸症候群 痔 肝炎(A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、慢性肝炎、劇症肝炎、アルコール性肝炎) 脂肪肝 胆石症	
		内分泌系の病気	14	生活習慣病	糖尿病 脂質異常症 肥満症 やせ症 通風・高脂血症 甲状腺機能亢進症 甲状腺機能低下症(粘液水腫)・クレチン症 単純性甲状腺腫 尿崩症	
		泌尿器系の病気	9	疾病その他	膀胱炎 尿道炎 過活動膀胱 前立腺肥大症 前立腺炎 前立腺がん 胃炎(急性胃炎、慢性胃炎) 腎不全(急性腎不全、慢性腎不全) 尿路結石 腎臓がん	
		生殖器系の病気	3	疾病その他	ED(=インポテンツ) 性感染症	
		脳・神経の病気	7.5	疾病その他	脳卒中 顔面神経麻痺 三叉・坐骨・肋間神経痛 (三叉神経痛、坐骨神経痛、肋間神経痛) パーキンソン病 認知症(痴呆)(脳血管性認知症、アルツハイマー型認知症) 自律神経失調症	
		運動器(骨・関節・筋肉)の病気	11	疾病その他	頸肩腕症候群 鞭打ち症(=頸椎ねんざ) 肩関節周囲炎(=五十肩・四十肩) テニス肘(=上腕骨外上顆炎) 腱鞘炎 ばね指 椎間板ヘルニア 外反母趾 骨粗しょう症	
		皮膚の病気	22	疾病その他	皮膚炎 湿疹 アトピー性皮膚炎 皮脂欠乏型皮膚炎 顔面単純性乾癬疹(はたけ) 接触性皮膚炎(かぶれ) 薬疹 じんま疹 光線過敏症 帯状疱疹 疣贅(いぼ) 伝染性軟属腫 白癬 水虫・たむし 疥癬 腫毒(とびひ) せきょう 尋常性痤疮(かみそりまけ 汗疹(あせも) わきが 梅瘡(床ずれ) 尋常性白斑(しろなます) 摩擦黒皮症(タオル黒皮症) そばかす しみ 母斑(あざ)ケロイド たこ・おのめ 靴擦れ	
		血液の病気	1.5	生活習慣病	貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血)	
		感染症の病気	4	疾病その他	麻疹(はしか) 風疹(三日ばしか) 水痘(水ぼうそう) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 伝染性紅斑(りんご病)	
I 第6巻 病気とヘルスケア (下)	病気とヘルスケア	アレルギーの病気	4.5	疾病その他	食物アレルギー アレルギー性鼻炎 花粉症	
		全身の病気	2	疾病その他	膠原病(関節リュウマチ)	
		耳の病気	2	疾病その他	外耳道炎(=外耳炎) 中耳炎 メニエール病	
		鼻・喉の病気	3	疾病その他	睡眠時無呼吸症候群 扁桃炎 扁桃肥大 慢性副鼻腔炎(蓄膿症) 咽頭がん 声帯ポリープ	
		眼の病気	5	疾病その他	ドライアイ 麦粒腫(ものもらい) 結膜炎(急性結膜炎、慢性結膜炎) 緑内障(あおそこひ) 白内障(白そこひ) 近視・遠視・老眼(老眼) さかさまつげ	
		口の病気	8	疾病その他	口内炎・口角炎 舌炎 舌苔 毛舌 地図状舌 溝状舌 舌痛症 顎関節症	
		歯の病気	7	疾病その他	齧歯 虫歯 歯肉炎(急性歯肉炎、慢性歯肉炎) 歯周疾患・歯周病	
		小児の病気	3.5	疾病その他	かぜ 夜尿症 泣き入りひきつけ・かんの虫 起立性調節障害 乳幼児下痢症	
		女性の病気	7.3	疾病その他	月経困難症(生理痛)・月経前緊張症 更年期障害 外陰掻痒症 外陰炎・陰炎 子宮内膜症 子宮筋腫 子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん 妊娠悪阻・つわり 妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症) 乳がん	
		精神の病気	6	疾病その他	うつ病・双極性障害(躁うつ病) てんかん 総合失調症(精神分裂症)神経症	
		環境による病気	3	疾病その他	乗り物酔い 時差ぼけ(時差症候群、時間帯域変化症候群) VDT障害 冷房病	
奇生体による感染症	2.5	疾病その他	蟻虫症 蛔虫症 アニサキス症 トキソプラズマ症 蚊・ダニ			
			11			

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー - 日本チェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者	
Ⅱ 第7巻 薬とヘルスケア	薬とヘルスケア	一般用医薬品の基本的な考え方	4	消費者対応その他	ヘルスケアアドバイザーの情報提供 一般用医薬品に対するアドバイス 薬剤師・医師に相談する事 予防・養生・生活の注意 受診勧告		
		情報提供に関する知識	12	概要	一般用医薬品を販売する際の確認事項 情報提供の内容 安全な飲み方 薬の剤形 別服薬方法 薬の服用時間 顧客対応の実際 医薬品副作用被害救済制度		
		一般用医薬品各論	118	概要	精神経路用薬 消化器官用薬 循環器・血液用薬 呼吸器官用薬 泌尿生殖器官用薬 皮膚科用薬 滋養強壮保健薬 生薬主薬製剤 女性用薬 アレルギ一用薬 外用薬 点眼薬 耳鼻科用薬 歯科口腔用薬 漢方製剤 生薬 公衆衛生用薬 一般後巻		
		巻末資料	6				
Ⅲ 第8巻 体の症状とヘルスケア(上)	体の症状とヘルスケア	体の症状とヘルスケア	2	疾病その他	添付文章の確認 受診勧告 日常生活の注意点 ヘルスケアアドバイザーが行うこと		
		脱毛	3.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		白髪	1.2	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		頭皮	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		頭皮のかぶれ、湿疹	0.8	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		頭皮の傷、皮膚炎	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		頭	2.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		めまい	1.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		物忘れ	1.8	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		頭痛	0.8	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		立ちくらみ	1.6	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		耳	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		耳の痛み	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		耳の下のほれ	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		耳だれ	1.8	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		耳の圧迫感、閉塞感	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		聴力低下	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		耳鳴り	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア		
		目	目の症状と対応する薬	1.5	疾病その他	目の症状と対応する薬表	
			目の痛み	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
	目のかゆみ	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	目のまぶしさ	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	視力低下	2	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	目やに、目の赤み	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	目のかわき、しょぼしょぼする	0.8	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	涙がでる	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	異物がみえる	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	まぶたのはれ、ただれ	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	目のかすみ	1.2	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	目の疲れ	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	夜になるとみえない	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			
	目の異物感	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア			

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チエーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者		
第9巻 体の症状とヘルスケア(下)	背中・腰	せき	2.4	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		たん	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		胸の痛み	1.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		動機	1.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		胸やけ	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		げっぷ	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		背中・腰	1.4	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		腰の痛み	2	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		腹の痛み	2.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		腹部のしこり	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
	手・足	胃、腹部のもたれ おなら お腹のふくれ、膨満感	胃、腹部のもたれ	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
			おなら	1.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
			お腹のふくれ、膨満感	2.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア OCT胃腸薬症状と薬効一覧表	
			ふるえ、けいれん	1.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
			しびれ	2	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
	骨・筋肉	関節痛 筋肉痛	動かしづらい	1.2	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
			かかとの痛み	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
			足の痛み	0.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
			関節痛	1.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
			筋肉痛	1.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア	
皮膚			発疹 かゆみ かさつき 手のあれ、ひび割れ 皮膚の色の異常	発疹	4	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア
				かゆみ	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア
				かさつき	1.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア
				手のあれ、ひび割れ	0.6	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア
				皮膚の色の異常	2	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア
爪	爪の色の異常 爪のはがれ、割れ 爪の形の異常 爪の周りの痛み、ささくれ	しわ	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		しこり	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		多汗	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		汗がでない	0.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		体臭	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		日焼け	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		爪の色の異常	1.2	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		爪のはがれ、割れ	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		爪の形の異常	2	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
		爪の周りの痛み、ささくれ	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア		
脈	速い脈 遅い脈 脈の乱れ	速い脈	0.4	疾病その他	概要			
		遅い脈	0.3	疾病その他	概要			
		脈の乱れ	0.3	疾病その他	概要			
肛門	肛門のかゆみ	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域	セルフケア			

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者
便		肛門の痛み	1.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		肛門からの出血	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		下痢	2.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		便秘	2	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		血便、便の色の異常	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		尿がちかい	1.2	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		尿がでにくい	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		尿量が少ない	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		尿量が多い	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		尿がにごる	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
尿		残尿感	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		血尿	0.5	疾病その他	概要	
		尿の色の異常	0.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		排尿痛	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		尿失禁	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		おりもの異常	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		月経異常	2.5	疾病その他	頻発月経、稀発月経、過多月経、無月経 概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		月経以外の出血	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		月経痛	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		外陰部の異常	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
子供の症状		乳房の異常	2.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		発熱	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		発疹	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		水泡	0.4	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		呼吸の異常	0.6	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		せき	0.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		下痢	1.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		血便	0.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		腹痛	0.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		吐き気、嘔吐	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
全身の症状		けいれん、ひきつけ	0.6	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		夜泣き	0.8	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		発熱	2.3	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		ふるえ	0.6	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		さむけ	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域	
		冷え	1.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		ほてり、のぼせ	1.2	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		食欲の異常	2	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		体重増加	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チャェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者
IV 第10巻 こころとヘルスケア	巻末資料	体重減少	0.8	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	執筆・監修者
		むくみがある	2.4	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		ねむけ	0.5	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		気がめいる	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		だるさ、疲れやすさ	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		不安感	0.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		二日酔い	0.6	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		イライラする	1	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		不眠	1.7	疾病その他	概要 セルフケアの領域 セルフケア	
		巻末資料	10		食事内容と腸内細菌による便の特徴の変化 腸にいる細菌の体への影響 年齢とともに移り変わる腸内細菌 人口中絶数と妊娠週数別割合の年次推移 妊産婦死亡率の年次推移国際比較 乳幼児身体発育値（身長、体重、胸囲） 有訴者率、性・年齢階級、症状別 児童・生徒の疾病・異常被患率	
		ストレスとは何か	0.3	体の不調	ストレスとストレスナー 自律神経の乱れ	
		ストレスと自立神経の働き	0.5	体の不調	交感神経と副交感神経のはたらき	
		よいストレスと悪いストレス	0.5	体の不調	よいストレスと悪いストレス 生活習慣	
		心身症	3	体の不調	原因 診断 治療 セルフケア	
		うつ病	5	体の不調	原因 診断 治療 セルフケア	
		摂食障害(食行動異常)	3	体の不調	原因 診断 治療 セルフケア	
		アルコール依存症	3	体の不調	原因 診断 治療 セルフケア	
ニコチン依存症	4	体の不調	原因 診断 予後 セルフケア			
薬物依存症	0.5	体の不調	症状 原因と治療			
テクノストレス症候群	3	体の不調	テクノ依存症 原因 治療 セルフケア テクノ不安症 症状 セルフケア			
不眠症(睡眠障害)	3.5	体の不調	原因 症状分類 治療 セルフケア			
外傷後ストレス障害	3	体の不調	原因 症状・経過 診断 治療 セルフケア			
子供の行動異常	0.3	体の不調	習癖異常 子供の心の動き			
子供の抑うつ	1.3	体の不調	症状 原因 セルフケア			
抗精神薬	0.3	体の不調	種類 作用 副作用			
抗不安薬	0.5	体の不調	作用 副作用			
抗うつ薬	0.5	体の不調	種類 作用 副作用			
抗認知症薬	0.3	体の不調	作用 副作用			
代替・補完医療	0.3	その他	概要 原理			
アロマトラピー	2	その他	期待される効果 利用法 方法			
アーユルヴェーダ	0.5	その他	概要 方法 効果			
エステティック	0.7	その他	概要 現状 方法			
遠赤外線療法	0.8	その他	概要 方法			
音楽療法	1	その他	概要 方法			
温泉療法	0.7	その他	概要 方法			
カイロプラクティック	1	その他	概要 現状 方法			

V 第10巻
代替・補完医療

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者	
		カラークラピー	0.5	その他	期待されるはたらき		
		気功	0.8	その他	概要 方法 効果		
		クレイラピー	1	その他	概要 方法		
		指圧療法	0.5	その他	概要 方法		
		タラソテアラピー	0.8	その他	概要 方法		
		東洋医学	1	その他	鍼灸療法 概要 針治療 灸治療 漢方薬		
		ハーブ療法	1	その他	ハーブの利用法 治療薬としてのハーブ		
		ホメオパシー	0.5	その他	概要 歴史		
		ヨーガ	0.6	その他	概要 方法		
		伝承療法	8.3	その他	概要 具体例 吐き気と食塩水 吐き気と生姜 ムカムカがとれる梅 ゲンノシヨウコウの抗菌作用 食中毒と紫蘇 消化をよくする大根 こんにやくと整腸作用 ごぼうと便秘 下痢とアロエ 下痢症状の対応策 緑茶と下痢 ひじきの効用 キシリトールと虫歯予防 口臭と茶葉 発汗作用とネギ 風邪のひきはじめとクズ かぜとネギ・生姜の湿布 ネギの湿布 生姜の湿布 風邪と民間薬 せきやたんを悪化させる食べ物 トクダミの効用 禁忌 食中毒 滋養・強壮とイチヨウ 疲れとお酢 黒酢と合成酢 こんにくいと強精効果 スタミナとウナギ 粘り気のある食品 ストレスとジンセン 薬湯健康法 化粧品としての薬草 クコと疲労回復 二日酔いとお茶 脂肪を分解する中国茶 杜仲茶と血圧		
VI 第10. 妊娠・出産・育児	妊娠・出産	女性の生理	2	その他	性機能 性周期 排卵と性周期 卵巢ホルモンと排卵 月経のしくみ		
		妊娠のしくみ	1.5	その他	精子と卵子 受精 性別 受胎 受胎後の変化		
		妊娠の診断と検査	3	その他	内診 尿の妊娠反応 超音波検査 避妊法とその他の特徴		
		分娩予定日	1.3	その他	妊娠期間の数え方 出産時期の分け方 分娩予定日		
		胎児の発育	3	その他	発育の経過 胎盤 胎児		
		母体の変化	1	その他	妊娠初期 中期 後期		
		妊娠関連の健康診査	1.5	その他	届け出 定期健診		
		妊娠中の生活の注意	8	その他	妊娠初期 中期 後期 末期 栄養 衣服		
		妊娠中のトラブル	2	その他	つわり 悪阻 便秘 むくみ 静脈瘤 お腹の痛み 妊娠線 手のしびれ 足の痙攣 腰痛 痔 頻尿		
		妊娠中の病気	1.5	その他	貧血 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 医療の受け方		
		異常妊娠	1	その他	前置胎盤 胎盤早期剥離 羊水過多 前期破水 骨盤位		
		流産	0.5	その他	概要		
		早産	0.3	その他	概要		
		分娩のしくみ	0.5	その他	概要		
		分娩の経過	1.5	その他	前期 1～3期		
		難産に対する手術と処置	0.3	その他	方法の概要		
		産後の変化	1	その他	全身の変化 性器の回復 授乳		
		産後のトラブル	0.6	その他	細菌感染 授乳 マタニティーブルー その他		
	成長		成長	4	その他	体格の評価 発達の評価 成長のメカニズム 神経系の発達 消化器 便 尿	
	育児		子供の育て方	2	その他	新生児に用いる育児用具 乳幼児の抱き方、寝かせ方	
授乳・食事		乳児期の栄養	4	その他	母乳栄養 人口栄養 離乳食		
睡眠		睡眠	0.5	その他	あおむけ寝 うつぶせ寝		

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チエーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者	
VII 介護 巻	排泄	おむつ	0.5	その他	おむつ		
		下痢、さまざま便	0.4	その他	乳児の下痢 さまざま便		
	体の清潔	入浴	1.4	その他	乳児の入浴のさせ方		
		菌みがき	1.5	その他	乳幼児の菌みがき		
	環境	暖房と冷房	0.7	その他	乳幼児への暖房、冷房、換気		
		外出	1.3	その他	乳幼児の外出のポイント		
		住まい	0.7	その他	ダニを減らす生活法		
	予防接種	予防接種	1	その他	予防接種の内容と時期		
	巻末資料	巻末資料	15		代替医療の分類 主な温泉療法 民間薬(症状・民間薬・期待される作用・使用部分・飲み方・備考) ハーブの種類(ハーブ名・効能) 12歳以上のものの悩みやストレスの有無及びその内容の割合 出生数・出生率・再生産率の年次推移		
	介護の基礎知識	介護の意味	介護の意味	0.2	その他		介護の意味
		介護の目的	介護の目的	0.2	その他		GOL
		介護の注意点	介護の注意点	0.2	その他		介護の注意
		介護の対象	介護の対象	0.2	その他		介護の対象者
		介護者への配慮	介護者への配慮	0.2	その他		介護者への配慮
		介護保険制度	介護保険制度	1.6	その他		要介護認定 支給限度額
高齢者の特徴		順応性が乏しくなる	順応性が乏しくなる	0.4	その他	温度変化 性質	
		予備能力がなくなる	予備能力がなくなる	0.4	その他	予備能力の低下	
		個人差が大きくなる	個人差が大きくなる	0.2	その他	個人差	
		廃用症候群に陥りやすい	廃用症候群に陥りやすい	0.6	その他	廃用症候群による主な障害	
食事と栄養	食事	食事	2	その他	食欲 咀嚼能力 嚥下力 菌 水分 リズム 姿勢		
	栄養	栄養	0.4	その他	栄養状態		
入浴	入浴の手順	入浴の手順	0.8	その他	介護度に合わせた入浴		
	入浴の注意点	入浴の注意点	1.4	その他	入浴介助		
	清拭	清拭	0.2	その他	清拭の必要性		
	訪問入浴サービスの利用	訪問入浴サービスの利用	0.5	その他	訪問入浴サービス		
排泄	排泄手段	排泄手段	0.2	その他	ポータブルトイレ おむつ		
	補助用品	補助用品	0.5	その他	介護度に合わせた排泄		
睡眠(寝具)	ベットとふとんの使い分け	ベットとふとんの使い分け	0.2	その他	ベットとふとんのポイント		
	介護ベットのレンタル	介護ベットのレンタル	1	その他	介護ベットの機能		
	保温の方法	保温の方法	0.2	その他	保温のポイント		
移動	杖	杖	0.2	その他	杖のポイント		
	歩行器	歩行器	0.2	その他	歩行器のポイント		
	歩行補助者(シルバーカー)	歩行補助者(シルバーカー)	1	その他	歩行器のポイント		
	車いす	車いす	0.3	その他	車いすのポイント		
住環境の整備	住環境整備の必要性	住環境整備の必要性	0.2	その他	住環境整備の必要性		
	転倒予防	転倒予防	0.2	その他	転倒予防のポイント		
	住宅改修の多い例	住宅改修の多い例	2.4	その他	手すりの設置 段差の解消 トイレの整備 浴室の整備 玄関の整備		
	改修にかかる費用	改修にかかる費用	0.8	その他	介護保険が適用される住宅改修		

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者
褥瘡	褥瘡の原因	褥瘡の原因	1	その他	褥瘡の原因	執筆・監修者
		褥瘡の症状	0.2	その他	褥瘡の症状	
		褥瘡の予防	0.2	その他	褥瘡の予防	
		褥瘡の治療	0.2	その他	褥瘡の治療	
	認知症	認知症の始まり	認知症の始まり	0.3	その他	初期症状
			認知症の症状	0.2	その他	症状のポイント
			接する際の注意点	0.7	その他	認知症の進み度の目安 接する時のポイント
	医療機関との連携 介護者の健康管理	医療機関との連携	医療機関との連携	0.5	その他	連携の必要性とポイント
			適度な気分転換	0.2	その他	気分転換の必要性
			ふだんの健康チェック	0.2	その他	健康管理 腰痛予防体操
			十分な休息	0.5	その他	休息の必要性 支出・心・体のケア
	福祉資源の活用	これまでの介護とこれからの介護	これまでの介護とこれからの介護	0.2	その他	必要な情報収集の必要性
			介護保険	1.6	その他	介護保険サービス内容
			介護サービスを受けるには	1	その他	介護保険申請手順
介護の窓口			0.4	その他	介護保険の種類	
リハビリテーション	リハビリとは	リハビリとは	1.6	その他	定義 目的	
		リハビリの種類	2	その他	リハビリの位置づけ 急性期リハビリ 慢性期リハビリ	
		環境整備と自助具	0.5	その他	自助具のポイント	
		早期離床	0.3	その他	離床の必要性	
		リハビリの実際	0.2	その他	理学療法 作業療法 言語療法	
		理学療法	0.6	その他	目的 注意点	
		作業療法	0.6	その他	目的 注意点	
		言語療法	0.8	その他	言語障害のタイプ 目的	
		脳卒中のリハビリ	2.7	その他	リハビリの例	
		関節リウマチ	1.5	その他	リハビリの例	
		応急処置の必要性	0.5	その他	応急処置の必要性	
		救命措置の種類	2	その他	救命処置が必要な場合 種類 手順	
		心肺蘇生法の基本	2.5	その他	疾病者の移動のさせ方 体位の変え方と回復体位	
		止血法	8	その他	意識の状態の観察 呼吸の状態の観察 循環状態の観察 心肺蘇生法の中止	
応急処置の基本的な使い方	応急処置の基本的な使い方	直接圧迫法	0.5	その他	直接圧迫法のやり方	
		間接圧迫法	2	その他	間接圧迫法のやり方	
		包帯	2	その他	目的 巻き方 交換	
		三角巾	1.2	その他	目的 使い方	
		絆創膏	0.8	その他	目的 使い方	
		水のう	1.3	その他	目的 使い方	
		湯たんぼ	0.5	その他	目的 使い方	
		湿布	0.7	その他	目的 使い方	
		皮膚の損傷	1.3	その他	概要・症状 応急処置	
		軟部組織の損傷	0.3	その他	概要・症状 応急処置	

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者
事故	急病・発作の王経処置	骨の損傷	2.5	その他	概要・症状 応急処置	執筆・監修者
		感染の防止	1	その他	概要・症状 応急処置	
		事故	1	その他	起こりやすい事故とその予防	
		意識障害	2	その他	概要・症状 応急処置	
		高熱	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		頭痛	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		胸痛	1	その他	概要・症状 応急処置	
		呼吸困難	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		腹痛	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		嘔吐	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		血を吐く	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		下痢	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		打撲傷の応急処置	1	その他	概要・症状 応急処置	
		ねんざ	2	その他	概要・症状 応急処置	
		脱臼	1	その他	概要・症状 応急処置	
事故の応急処置		肉離れ	1	その他	概要・症状 応急処置	
		ぎっくり腰・寝違え	1	その他	概要・症状 応急処置	
		アキレス腱断裂	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		目の異物	1.5	その他	概要・症状 応急処置	
		耳の異物	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		鼻の異物	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		のどの異物	2.5	その他	概要・症状 応急処置	
		とげ・釘・ガラスが刺さった	0.7	その他	概要・症状 応急処置	
		虫さされ	0.7	その他	概要・症状 応急処置	
		動物に咬まれる	1.5	その他	概要・症状 応急処置	
		やけど	3	その他	概要・症状 応急処置	
		薬品接触	0.5	その他	概要・症状 応急処置	
		熱中症	1.5	その他	概要・症状 応急処置	
		凍傷	1	その他	概要・症状 応急処置	
		しもやけ	1.2	その他	概要・症状 応急処置	
中毒		感電	1.5	その他	概要・症状 応急処置	
		溺水	3.5	その他	概要・症状 応急処置	
		急性アルコール中毒	1	その他	概要・症状 応急処置	
		化学物質の中毒	1.5	その他	たばこ 漂白剤 中性洗剤 殺虫剤 防虫剤 シリカゲル	
		ガス中毒	1	その他	概要・症状 応急処置	
		子供の中毒	2.5	その他	概要・症状 応急処置	
		食中毒	2	その他	概要・症状 食中毒の種類 応急処置	
		救急医療体制の分類	2.5	その他	初期救急医療体制 第二次救急医療体制 第三次救急医療体制 救急医療情報センター	
		救急車の呼び方	2.5	その他	どんな時によぶか 119通報の仕方 到着するまで到着してからすること	

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリ	キーワード	執筆・監修者	
Ⅹ 応対に関する知識	家庭での備え、常備薬	トリアージ 家庭での備え、常備薬	1.5	その他	概念・目的 担当者 実際 常備薬		
	巻末資料	巻末資料	7	その他	平均寿命の推移 介護保険における在宅の要介護支援等へのサービス 介護保険における施設サービス 介護報酬の地域区分 介護サービスの種類別指定施設・事業 業 者 数 都 道 府 県 介 護 相 談 窓 口 一 覧		
	情報の伝え方の心構え	応対技術を前提とした情報の伝え方 家庭内での情報の伝え方 地域社会での情報の伝え方 主な症状別にみた対応	1 2.5 0.5 2	消費者対応その他 消費者対応その他 消費者対応その他 消費者対応その他	自立し参加する医療への転換 伝え方が重要 乳幼児期 学童期 思春期 成人期 老年期 地域社会での伝え方のポイント アレルギー 下痢・便秘 顎関節症 口臭 肥満 副作用を気にする人 カウンターにお客様が並んでいる時の説明 いっままで待たせるのかと怒っている人		
	店頭対応の心構え	接客マナーと心構え 整容(みだしなみ)の基本 入店から退店までの基本マナー	1.2 15 3.5 5.5	消費者対応その他 消費者対応その他 消費者対応その他	挨拶の仕方 好感をもたれる要素 感じのよい話し方 好感をもたれる服装 整髪 入店時のマナー 店頭活動中のマナー 退店時のマナー		
	応対の基本技術	販売の基本動作 お客様の気持ちを考えて接客サービス 話し方研究 販売能力のセンスアップ	15 20 8.5 14	消費者対応その他 消費者対応その他 消費者対応その他 消費者対応その他	お客様の動向にあわせて基本対応 正確でスピーディーな会計動作 感じのよい手渡し方 顧客カルテを活用する 感謝の心を伝える お客様が商品を購入されるまでの心理 お客様の気持の察知 声かけのタイミング お客様からクレームを受けたときの対応 接客の基本用語 会話センスの磨き方 お客様の要望にあった商品をお勧めする力 応対センスを高める コミュニケーションを高める 羞恥心を伴う状態のとき 受診勧告の対応ケース 母親への対応 主な病気・症状・OTC別対応ポイント		
	用語解説	ヘルスケア関係の事例研究	7.5	消費者対応その他	ヘルスケア、ビューティーケア、応対、売り場に関する用語解説		
	商品流通の基礎	用語解説 商品流通の構造 我が国の小売業状況 チェーンストアの経営 出店立地とロケーション ショッピングセンター	43 6.5 2 3 3 1.5	消費者対応その他 その他 その他 その他 その他	商品の流通と機能 経路 主な商品の流通経路 小売業の変化 チェーンストア ロケーション特性別立地分類 都市形成における立地分類 商圏人口による立地分類 証券調査分析 ショッピングセンターの定義と展開 種類 小売業の展開		
	商品構成と売り場づくり	商品構成 商品構成の手順 価格対策 売り場づくり	2 2 3.2 11	その他 その他 その他 その他	商品構成の原則 商品構成は変化させる 商品分類 商品体系づくり 商品マスターづくりと棚割 商品構成を高めるポイント 売価の意味 売価の決め方 売価の種類 商品構成グラフ レイアウトの基本 レイアウトの原則 陳列の基本		
	店舗オペレーションと売り場管理	売り場の基本業務	6.5	その他	報告・連絡・相談の重要性 発注業務 在庫管理業務 検収業務 補充陳列業務 サービス業務 クリーンネス業務 レジ業務 作業担当とスケジューリング管理		
	販売促進活動	システム 販売促進の種類	1 5	その他 その他	発注システム レジシステム 検収システム 店内販促 店外販促		
	売場の数値	顧客管理	顧客管理の目的 顧客管理の活用	1.2	その他	顧客管理の目的 顧客管理の活用	
		営業数値	売上 売上総利益 在庫 仕入枠 値上げ、値下げ	5	その他	売上 売上総利益 在庫 仕入枠 値上げ、値下げ	
		営業経費	営業経費の種類 損益計算書の基本的な構造	2	その他	営業経費の種類 損益計算書の基本的な構造	
	棚卸とロス	棚卸とロス	3.5	その他	棚卸 ロス		

表4 No10 ヘルスケアアドバイザー 日本チェーンドラッグストア協会

テキスト	大目次	小目次	頁数	カテゴリー	キーワード	執筆・監修者
		売り場の効率	3	その他	1人当たりの効率 坪あたりの効率 時間当たりの効率	
	ヘルスケア商品に関する知識	ヘルスケア商品に関する知識	66	その他	ニーズ、品種、用途・効用、使用方法、使用上の注意、販売上の注意、他分野との関連事項を掲載	